伝えたい 笑顔にしたい 支えたい

ぽぽぽねっととは

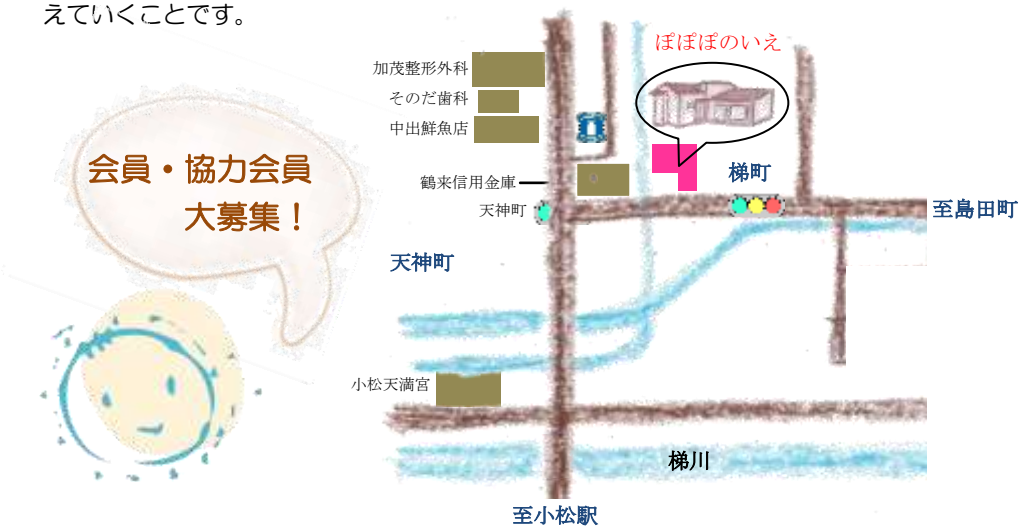
いのちにやさしいまちづくりのための普及や人材育成活動、及び地域の人々が相互に支え合えるネットワークづくりを通じて、病いや障がいを抱えても子育て中であっても、地域でその人らしく主体的に生きていくことができる社会の実現を目指した活動を行います。

会の目的

子供から高齢者まですべての人に対して、多様な職種や立場のボランティアをコーディネートし、行政や企業、地域の医療保健福祉関係者と協力しながら、問題を抱えている人とその家族の支援に関する事業を行い、人のやさしさにあふれた思いやりのある誰もが希望を持てるまちの実現に寄与することです。

大切にしていること

病いや悩みを抱えても、「ひとりの人として自分らしく生きていきたい」「その人らしくいてほしい」「笑顔を支えたい」など、これらの想いを叶えるために、家族、医療福祉従事者、地域の方が寄り添い、共に考え、知恵を出しあい、笑い、励まし、叶えていくことです。



	入 会 金	年 会 費	議決権	特　　典
正 会 員（個人）	2,000 円	10,000 円	有	・年２回の会報送付 ・各種イベントのご案内 ・イベント参加費の割引あり
正 会 員（団体）	2,000 円	10,000 円（一口より）		
賛助会員	なし	3,000 円（一口より）	無	

※1 年は４月１日～3 月 31 日までとし、年会費の分割はしておりません。
※申込用紙に必要事項を記入し、郵送又は FAX にてお送りください。

NPO法人 いのちにやさしいまちづくり ぽぽぽねっと

ぽぽぽの“ぽ”は people（人々）
ぽぽぽの“ぽ”は place（場所）
ぽぽぽの“ぽ”は product（創造）

居場所があってそこに人々が集う
そうすると、ぽぽぽっと春のような温かい気持ちが湧いてくる
ぽぽぽっとやりたいことが生まれてくる
笑顔のある活動には、またぽぽぽっと仲間がやってくる
ぽぽぽっ、ぽぽぽっ、そんなイメージが会の名前になりました

ＮＰＯ法人 いのちにやさしいまちづくり ぽぽぽねっと
〒923-0028　石川県小松市梯町ホ 11 番 1　ぽぽぽのいえ
TEL・FAX：0761-23-7307　Email：popopo.net77@gmail.com
HP：http://square.umin.ac.jp/popopo/

●いのちにやさしいまちづくりに関する事業

いのちのスープの会

「食べたいけれど食べられない」「何を食べたらいいの？」がん患者さんの言葉がきっかけとなり、この会が始まりました。それ以来「食」にお困りの方のこんなメニューを「食べてみたい」「食べさせたい」という声を基に活動を行っています。
毎回、基本の玄米スープと旬の食材を使ったスープ、体によいジュースの他、旬の野菜を使った料理を作り、会食しています。参加者は患者、医療者、介護者、食に携わる方、ケアを必要とする家族のいらっしゃる方など様々ですが、食を通しての出会いや会話も「おいしく食べる」エッセンスとなっています。
「〇〇さんの食べやすい状態にしよう」「△△さんにはこの食材」そんな想いがおいしい食事、あたたかな話題を生み出し、まさに“生きることは食べること”を体感できる時間となっています。

【日　時】毎月第１土曜日 AM10 時～（※変更有・事前に要確認）
【参加費】会員 1,500 円　非会員 1,700 円
【場　所】しあわせのいえ（小松市八幡 106　tel 0761-47-0309）
【問合・申込】shiawasenoie@kumalift.co.jp

ぽぽぽ聞き書きの会

聞き書きとは、一人の人にどのような人生を歩まれてきたのかを語って頂き、それを文章化して一冊の冊子にする活動です。
特に相手が人生の先輩であるお年寄りの場合は、聞き手はその経験・知識・知恵を後世に残す橋渡し役を担うことができ、語り手は、語ることでご自身の人生を振り返り、幸せな出来事や頑張ってきたことを思い出すことにつながります。生き生きとした表情を見せてくださる方、「こんなにも頑張ってきたんだな」「まだやることがある」など自分を肯定的にとらえ直す方など、心のケアにつながるという作用もあります。

魂のいちばんおいしいところ

「みんな違ってみんな良い」この気持ちを持ち続けるために、「自分を大切にすること」「自分を解放すること」を新たなテーマとしています。
活動としては、「生と死」の文化の豊かなまちづくりを目指し、講演・コンサートへの参加を広く市民に呼びかけることで、出会いの場を作り出し、同じ空間での共感を図っています。また、他部会と共同企画を開催することで今までの「出逢い」「つながり」「縁」を大切にしています。

●医療保健福祉従事者と患者・家族のネットワーク推進事業

ぽぽぽ保健室＆ぽぽぽカフェ

ぽぽぽのいえで子育て・介護・がんの悩み・認知症・排泄のことなど、不安や悩み事で気持ちが沈んだり、時にはとても辛い体験をしたりした方のこころを軽くするお手伝いをしています。
また、ぽぽぽカフェでは毎月楽しい催しものを企画し、皆さんとの交流を深めています。

・毎月第１木曜日 10：00～　子育て相談
・毎月第２火曜日 10：00～　催し&相談

ぽぽぽいのちの学校

2013 年度の「おもいやりのまちプロジェクト」をきっかけにこの部会が誕生しました。
高齢者も子どもも若者も、病や障がいを抱えていても、自分らしくいきいきと、楽しく幸せに暮し続けることができるコミュニティヘルスのあるまちづくりを目指して「場づくり」「人づくり」「つながりづくり」をモットーに、「楽しく学び」「地域に発信する」企画として学習会を開催しています。また、爆笑劇団「どすこいぽぽぽ」の出前講座も行っています。

●学習会：平日 19:00～20:30　　ぽぽぽのいえ
参加費（500 円）※軽食（おにぎりとスープ）あり

●すべての子ども・障がい者の支援に関する事

障がい児・者の居場所作り事業

障がいを持っていても、住み慣れた地域で共に暮らしていけるまちづくりを目指します。
そのーつに『バリアフリーマップ＋（プラス）』のシートづくりを進めています。重度心身障がい児を持つ家族が主体となり、バリアフリーについて全ての人が容易に使用できる状態となっているかを環境調査を行い、各方面に働き掛けて行きます。

子育て中の親子の育児支援事業

「育てる楽しさ見つけよう！」をテーマに、活動を共にする中で「子育てを楽しむ」「ゆとりを持って子どもを観察する眼を養う」「親が自発的に自己解決能力を高めていける」ように支援をしています。
サポートさせて頂くのは、保健師、薬剤師、助産師、保育士で構成される「ほっとたいむ」のメンバー。それぞれの専門知識をベースに、多様化する親のニーズに応えていきます。

次世代育成事業

患者さんとその家族、医療保健福祉従事者が出会い語らう場づくりができる学生ボランティアの育成を目的としています。

＜活動内容＞
・聞き書き講座の開催
・ココチカフェの開催
　ホスピタリティを大切に、暮らしや文化の視点を盛り込んだ語らいの場を提供させて頂くことで、当事者やご家族の方々から沢山の学びを頂いています。
・障がい児・者との交流および支援
　「魂のいちばんおいしいところ」など各部会の活動に積極的に参加しています。